

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市税の徴収等に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	2	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	収税課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	石井 邦男			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	実績を重ね動産等を対象とした滞納処分 の手続きにかかわる習熟度を高める。	③平成29年度 に取組む 改革・改善 内容	研修参加や実績を重ね動産等を対 象とした滞納処分の手続きにかか わる習熟度を高める。
②①に 基づく 取組み 結果	動産1件、不動産1件公売実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市税	意図(対象をどう するのか)	市税の確保と徴収率の向上
②事務事業の概要	市税の徴収に必要な滞納整理(督促、催告、納付相談及び滞納処分)を行う。			
③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など)	納税者のライフスタイルの多様化に伴い、納税環境の整備・充実を図ることは必要 不可欠となってきた。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	動産1件、不動産1件公売実施した。						
②成果 を表す 指標	指標名称		平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	単位	算定根拠
	i	収納額	13,271	13,263	13,376	百万円	決算
	ii	徴収率	92.8	93.4	94.1	%	決算
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳			平成29年度予算	
事業費(千円)	8,271	7,915	金額(千円)	内容		8,461	
国支出金(千円)			5,739	非常勤職員賃金			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	8,271	7,915				8,461	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する 現状など)	動産等の捜索・差押から換価するための公売まで、処分を円滑に実施する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	動産等を対象とした滞納処分は徴収率向上における重要な手段となるため、さらに 効率的で効果的な運用を図る。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H27から の繰越
		H27⇒28繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成28年度への繰越額(単位:千円)				